

東海市・知多市地域医療等あり方検討委員会中間報告の概要

1 中間報告の位置づけ

- これまでの検討内容を踏まえ、現時点における検討状況をとりまとめたもの

2 今後の予定

- 次回（H27.2.3）の検討委員会において、最終報告案を検討予定

3 中間報告の概要

(1) 回復期及び慢性期病床の必要性

- ・ 西知多総合病院の開院により急性期医療に一応の目処
- ・ 今後は西知多総合病院を退院する患者の受入確保・充実に課題
- ・ 生活支援型の医療機関として、回復期・慢性期の治療に取り組む医療機関の確保を進めていくべき

(2) 在宅医療の充実

- ・ 医療ニーズの高い高齢者の増加や在院日数の短縮により、受皿として在宅医療の充実が大きな課題
- ・ 在宅医療は診療の延長線上にあり様々な立場のサービス提供者が連携することで成り立つ
- ・ 在宅医療の支援病院拡充、診療所と病院の連携強化、訪問看護師等の育成などバックアップ体制の構築が求められる

(3) 介護・福祉施設の充実

- ・ 介護・福祉施設は、計画的な施設整備が進められているが引き続き入所待機者の動向、施設の充足状況を注視していくべき
- ・ 廃止される介護療養病床の代替施設の確保に早急な対応
- ・ 介護職員の確保と質の向上が重要な課題であり、介護職員の育成・確保により介護機能の充実を図ることが求められる

(4) 医療・介護・福祉の連携推進

- ・ 医療・介護・福祉の連携強化を図り、一人ひとりの症状などに応じた切れ目ない一体的なサービス提供体制の構築
- ・ 関係者が相互の立場を正しく理解し、共通認識を持つ必要
- ・ 連携推進には顔の見える関係づくりが不可欠
- ・ 病院の連携支援部門の体制づくりや権限の充実が不可欠であり、関係機関との窓口として中心的な役割を果たすことを期待

(5) 行政の役割

- ・ 地域包括ケアシステム構築に向け行政がコーディネーター役として主体的な役割を果たすべき
- ・ 西知多総合病院の役割を両市民に向けて積極的に広報活動
- ・ 地域医療ビジョンの策定の動きを踏まえ、的確かつ柔軟に対応

(6) 市民への期待

- ・ まずは「かかりつけ医」の診療を受けるなど医療機関の役割分担に理解を
- ・ 健康寿命を延ばすためのセルフケアの実践で病気の予防
- ・ 地域医療を守るため、上手な病院のかかり方について市民一人ひとりの理解と協力を